

同窓会だより

第 1 号
平成10年6月10日

山形県立農業大学校同窓会
新庄市大字角沢1366

「同窓会だより」第1号発行に寄せて
同窓会長 津藤次雄(13期)

同窓生の皆様には、県内各地域でのご活躍と、同窓会に対するご協力に心より感謝申し上げます。

母校農業大学校も、昭和30年「経営伝習農場」として発足以来、通算43回生を迎え、卒業生もすでに2,300余名となりました。

その間に、4回の名称変更があり、現在は高卒2年制の新しい「農業大学校」となっております。

同窓生は、すでに町村の首長や農協の組合長等を含め各地域の中核として活躍中で、まさに本県農業、農村のリーダーとなっております。

また、昨年、県民栄誉賞に輝いた冒険家大場満郎さんも当校の14期生であります。

当農業大学校は、昨年より農業研究研修センターの教育研修部門として新発足し、21世紀をめざす担い手の教育環境が一段と整ってきました。

この度、「同窓会だより」の第1号をお送りし同窓会並びに母校の近況などをお知らせいたします。会員の皆様からのご意見をお寄せいただくとともに、ぜひ、母校にお立ち寄りいただきまして新しい農業大学校をご覧のうえ、後輩を激励してくださるようお願い申し上げます。「同窓会だより」発刊の挨拶といたします。

卒業生の皆さまへ

農業大学校長 橋本重雄

農業大学校卒業の皆様には各地で農業生産活動に、地域の振興発展にとめざましい活躍のご様子、在校生・職員ともども大変心強く思っているところであります。また、機会ある度に本校のためにご尽力を賜り心から感謝申し上げます。

お蔭様で、現在、1学年51名、2学年49名と定員いっぱいの学生が、稲作・野菜・果樹・花き・酪農・肉用牛の各専攻コースで元気に実践学習励んでおります。

校内でのプロジェクト学習、トラクターや無人ヘリコプター操縦資格習得の外、県内の先進農家宿泊体験学習や米国カリフォルニア州・コロラド州での海外研修とさまざまな勉強に充実した学生生活を送っております。

施設面でも短期研修施設「緑風館」、機械化研修センター、果樹現場教室、新規果樹園、優良種苗増殖施設(バイテク施設)、成型苗生産施設、ロックウール栽培施設などと年々整備が進められ、本年は体育館の建て替えにとりかかっているところであります。

環境面では、両隣に旧畜産試験場と旧最北支場が移転整備され、農業研究研修センターとして教育と試験研究が一体化された素晴らしいエリアとなりました。

ぜひ、このような農業大学校に、21世紀を担う若者を一人でも多く推薦して戴きたいと思っております。

◎平成9年度事業経過 (H9年7月～H10年6月)

- H 9- 7-10～11 農業大学校同窓会全国連盟総会
東京 今田事務局員出席
- 7-12～13 第39期生同期会(湯野浜)
- 7-19～20 第14期生同期会(赤倉)
- 7-28 第1回役員会(農業大学校)
- 7-28 平成10年度総会(農業大学校)
- 8-10 「大場満郎ライブinもがみ」
会長、庄司事務局長、高橋理事出席
- 8-30～31 第13期生同期会(最上町大堀)
- 11- 3 農大祭への生産物出品並びに参観
- 11- 3 第2回役員会(農業大学校)
- 11- 2～3 第12期同期会(赤倉)
- H10- 1-21～22 平成9年度卒業論文発表会
会長出席
- 3-12 平成9年度卒業証書授与式
会長来賓として出席祝辞を述べる
- 4-10 平成10年度入校式
会長来賓として出席祝辞を述べる
- 4月 「同窓会名簿」作成
- 6月 「同窓会だより」第1号発行

役員名簿(平成8年度～9年度)

役職名	氏名	期	住所	電話番号
会長	津藤次雄	13	鮭川村	
副会長	高橋昇	11	舟形町	
"	会田和夫	13	山形市	
"	佐藤新一	15	鶴岡市	
監事	半沢信明	15	山形市	
"	阿部ちか子	11	鮭川村	
"	斎藤進也	21	新庄市	
理事	設楽平	2	新川町	
"	菊地隆男	4	寒河江市	
"	中川芳美	22	山形市	
"	伊藤長英	23	"	
"	伊藤秀一	14	八幡町	
"	森正明	7	新庄市	
"	小屋正志	8	鮭川村	
"	小荒喜一	10	戸沢村	
"	高叶千代子	15	"	
"	高橋真哉	28	"	
"	松田竹男	32	新庄市	
"	三宅充弥	36	真室川町	
"	熊沢忠義	16	東根市	
"	角屋耕吉	14	米沢市	
"	峠田徳郎	26	南陽市	
"	伊野好一郎	4	小国町	
"	新野英一	20	長井市	
"	今野誠一	18	鶴岡市	
"	鈴木正人	10	尾花沢市	
"	菊地孝子	22	大石田町	
事務局員	庄司茂徳	19	金山町	
"	今田浩徳	30	新庄市	

「自由人」-じゅうびと-

代表 平成3年度卒業生 高橋 義博

私達のグループは、農業青年組織「自由人」(じゅうびと)と言います。

平成4年4月、農業大学校卒業と同時に就農した十人で結成しました。

私達が2年間の寮生活で一番に学んだこと、それは「仲間づくり」でした。その仲間づくりから生まれたのが「自由人」です。

当時、卒業後即就農者が1/3もおり、卒業間際まで就農者研修が行われていたことも、就農予定者同志の仲間意識を強めたようです。

「自由人」という名前は、農大祭のサブテーマ「我ら農業自由人」から取りました。この組織にははっきりとした目的があります。

- ① 技術の交換及び交流
- ② 人間の糧を生産していることに誇りを持ち、一流の農業経営者になること
- ③ 少年のような心を持ちつづけ「自由」な生活を送ること

「自由人」の活動は、農大の緑風館や温泉旅館等、集合場所を県内方々に変えて集まっております。

“平日に一泊研修をする”ということが農業をしている上での魅力でもあります。

毎回集まるたびに、農作業の進み具合、後継者としての悩み、将来の目標など、さまざまな話題で盛り上がります。

総会、芋煮会、新年会などのお楽しみの外に、各自が目標を持って一年間「プロジェクト」に取り組んだり、農大の後輩たちに農業の良さを伝えるために「懇談会」を開いたり、また、農業後継者としての自覚を高めるために経営の先生をお招きして「経営講座」を開いたり、いろんなことをやってきました。

特に、積み立て金を利用して行った県外研修では米自由化の先手を打っていた秋田県大瀧村の「あきたこまち協会」を訪れ、TVでおなじみの涌井さんから直接お話を聞くことができました。実のある県外研修をまた計画中です。

私達も農大を卒業して7年目になりました。同学年で始めた「自由人」も、その後数人の後輩たちを加えメンバーも17人にふえました。

今、私達の農業経営も、水稻・野菜に果樹と多種多様な上に、各地域で農業後継者としての忙しさが重なり、集まる機会が少なくなったように思います。しかし、農大出身という絆と、これからも共に農業を続けていくという仲間意識で、少ない機会でもお互いに刺激し合い、「自由人」として掲げた初心を忘れずに、細く永く続けていきたいと思っています。

そして、私達はいつまでも、忙しい中にもゆとりのある「自由人-じゅうびと」でありたいと思っています。

同窓生の活動紹介

新施設紹介

農業大学校では、平成九年度から次の新しい三施設が稼働し、学生のプロジェクト学習等に活用しておりますので紹介します。

① 優良種苗高度増殖施設

バイテク技術を活用して、優良な種苗の大量増殖や、新品種の育成などを行う施設でクリーンベンチ(八台)、マイクロープレトリダー、植物培養装置、人工気象器、PRC(遺伝子増幅装置)などの最新鋭機器が揃っています。今年度は、ユリ苗の大量増殖、さといもバイオ苗の生産、コチヨウランの葉片培養などに取り組みます。

② 成型苗高度生産施設

施設内には、スライド式アルミプールベンチを十三台、ミストベンチを二台備えたガラス温室です。プールベンチは、定めた時

全自動型の最新鋭水耕栽培施設です。

今年度は、野菜は「なす」(ロックウール)、「レタス」(湛液循環型)を、花きではバラとガーベラをロックウールで栽培することにしています。なお、この施設は、掛け流し式ではなく、環境に優しい循環式を採用しています。

③ 野菜、花きロックウール栽培施設

間に底面から自動的に給水できるため、かん水作業の大幅な省力化が可能になります。本施設は、(一)の優良種苗高度増殖施設で増殖生産された野菜や花の育苗、シクラメン等の鉢物の栽培管理に用います。

※ ホームページを開設しました。

農業大学校学校では昨年からインターネットにホームページを開設し各種情報を提供しております。アドレスは <http://shinjo.dewa.or.jp/ynodail/>